

科目名称：	医療事務演習Ⅱ	
担当者名：	石堂みゆき、山崎綾子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>診療報酬を算定する上で必要な療養担当規則を把握し、この法律や規則に基づいて各診療料の診療報酬算定方法を学修します。この各診療料（治療費算定）には、いくつか条件があり、各診療料の算定方法、診療報酬明細書（診療報酬の請求書）の記載要領のポイント把握が必要です。診療報酬明細書の誤りを訂正する学修を繰り返し行ない、反復練習により、正確に早く点検作業ができるレベルになることを目指します。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>医療事務技能審査試験合格率100%になる様に創意工夫しながら、学生が興味を持って自ら学修する意欲を引き出せるような演習にします。医療事務技能審査試験の診療報酬分野の修得を目標とします。</p>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)	70	10	10	10	100
ビジネスDP(3)					0
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》石堂みゆき 医療事務点検業務・受付	《経験年数1》 12年
	《内容2》山崎綾子 医療事務点検業務・受付	《経験年数2》 4年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
処置・リハビリ、手術・麻酔料	算定条件を十分に理解し、自分自身で正しく点数算定ができる。	算定条件を十分に理解し、指示に従って適切に点数算定ができる。	算定条件を理解し、指示通りに点数算定ができる。	算定条件を理解できない。
検査料、注射・投薬料	算定条件を十分に理解し、自分自身で正しく点数算定ができる。	算定条件を十分に理解し、指示に従って適切に点数算定ができる。	算定条件を理解し、指示通りに点数算定ができる。	算定条件を理解できない。
医学管理・在宅、画像診断	算定条件を十分に理解し、自分自身で正しく点数算定ができる。	算定条件を十分に理解し、指示に従って適切に点数算定ができる。	算定条件を理解し、指示通りに点数算定ができる。	算定条件を理解できない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 【処置・リハビリ等】 処置・リハビリ等の点数算定方法、明細書の記載要領を理解し、明細書の点検をグループワークで確認し、ディスカッションする。	基礎ドリルの〈処置の問題〉で復習すること。	30分
第2回 【処置・リハビリ等】 処置・リハビリ等の点数算定方法、明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。	課題プリントで復習すること。	30分
第3回 【処置・リハビリ等】 点数算定方法、明細書の記載要領についてグループワークを行う	受験対策問題集のAの学科で復習すること。	30分
第4回 【手術・麻酔料】 手術・麻酔料の点数算定方法、明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。	基礎ドリルの〈手術・麻酔の問題〉で復習すること。	30分
第5回 【手術・麻酔料】 手術・麻酔料の点数算定方法、明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。	受験対策問題集のAの学科で復習すること。	30分
第6回 【検査料】 検査料の点数算定方法、明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。	基礎ドリルの〈検査の問題〉で復習すること。	30分
第7回 【検査料】 検査料の点数算定方法、明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。	基礎ドリルの〈検査の問題〉で復習すること。	30分
第8回 【検査料】 検査料の点数算定方法、明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。	課題プリントで復習すること。	30分
第9回 【検査料】 検査料の点数算定方法、明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。	受験対策問題集のAの学科で復習すること。	30分
第10回 【注射・投薬料】 注射・投薬料の点数算定方法、明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。	基礎ドリルの〈投薬の問題〉で復習すること。	30分
第11回 【注射・投薬料】 注射・投薬料の点数算定方法、明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。	基礎ドリルの〈注射の問題〉で復習すること。	30分
第12回 【注射・投薬料】 注射・投薬料の点数算定方法、明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。	受験対策問題集のAの学科で復習すること。	30分
第13回 【医学管理・在宅・画像診断料】 医学管理・在宅・画像診断料の点数算定方法、明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。	基礎ドリルの〈医学管理・在宅の問題〉で復習すること。	30分
第14回 【医学管理・在宅・画像診断料】 医学管理・在宅・画像診断料の点数算定方法、明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。	基礎ドリルの〈画像診断の問題〉で復習すること。	30分
第15回 【点検】 今までの学習した内容を復習しながら、カルテと明細書とつき合わせて明細書点検を行なう。	テキスト4のカルテ症例の復習をすること。	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、課題プリント・基礎ドリル・受験対策問題集を行い授業の内容理解をしていくことになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
小テスト70%、提出課題20%、授業への貢献、授業への積極的関与10%、出席を前提とし、欠席は授業への積極的関与がないものと判断する。

課題に対するフィードバック

授業中使用プリント、課題は評価し返却する。基礎ドリル・受験対策問題集は、復習状況確認後返却する。

教科書・参考書

教科書：テキスト1～4、スタディブック、ハンドブック、マイベストノート、医科診療報酬点数表、点数早見表
著者：(株)ニチイ学館 出版：(株)東京丸の内出版（医科診療報酬点数表は出版：(株)社会保険研究所）
テキストの該当ページを開きながら、スタディブック、医科診療報酬点数表等で解説する。
参考書：問題集（基礎ドリル、受験対策問題集）